



愛媛国体のレスリング少年男子グレコローマンスタイル96㎏級で優勝し、知事顕彰を受ける山本壮汰（右、飛龍高3年）＝静岡市葵区

「五輪につなぐ活躍を」

愛媛国体県選手団が解団式

第72回国民体育大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」の本県選手団の解団式が13日、静岡市葵区で開かれ、優勝した個人・団体7種目の選手らが知事顕彰を受けた。

受賞者は近的と遠的の2冠を達成した弓道成年女子、レスリング成年男子フリースタイル125㎏級を制した山本泰輝（拓大3年）、弟で同少年男子グレコローマンスタイル96㎏級覇者の山本壮汰（飛龍高3年）ら。兄と同じ拓大に進学予定の壮汰は「兄弟優勝ができてうれしかった。大学でも通用する体づくりをしていきたい」と語った。

（男女総合）17位、皇后杯（女子総合）18位。選手団総監督の石川恵一朗（県体協専務理事）は「国体での活躍は（開幕まで）あと千日を切った東京五輪にもつながる。これまで以上に強い団結力で、天皇杯1桁順位、総得点1360点以上の目標達成につなげよう」と各競技団体代表者らに呼び掛けた。

本県の成績は天皇杯